

少数民族の母子支援

AMD Aミャンマー事務所

江橋さん、現地の状況報告



国際医療救援団体「AMD A」グループのAMD A社会開発機構のミャンマー事務所

で活動する江橋裕人さん(41)が一時帰国し、現地の状況を報告した。「少数民族が住む



江橋 裕人さん

山間部では医療施設が近くにない上、支援地域へのアクセスが悪い」と現状を訴えた。

江橋さんは、少数民族が多く住むミャンマー北部のコーカン自治地域で母子保健事業などを実施している。主な収入源だったケシ栽培が禁止され、困窮している地域で、世界食糧計画(WFP)などと協力しながら食糧配給や母親に対する健康教育を行っている。

江橋さんによると、政府が同地区への外国人立ち入りを禁止しており、「直接、現場に行けないもどかしさはある」と話す。事業は現地スタッフを通じて妊産婦検診などを行っているという。「母親に対する母子保健知識はついてきた。今後はいかに行動に移してもらおうかがかき」と話した。

【石井尚】